

単孔式腹腔鏡下人工肛門造設術の有用性の検討

2016年から2020年までに人工肛門造設術を受けた患者さま

研究協力をお願い

当科では「単孔式腹腔鏡下人工肛門造設術の有用性の検討」という研究を行います。この研究は、2016年04月01日より2020年03月31日までに日本医科大学多摩永山病院外科にて、人工肛門造設術を受けられた患者さまの手術成績、周術期合併症を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：単孔式腹腔鏡下人工肛門造設術の有用性の検討
研究期間：2020年03月31日～2022年12月31日
研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 外科助教 岩井拓磨

(2) 研究の意義、目的について

腹腔鏡下人工肛門造設は開腹に比べ術後合併症、侵襲軽減が期待されます。同術式の有用性、安全性を検証することを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2016年04月01日より2020年03月31日までに日本医科大学多摩永山病院外科にて、①開腹ならびに②腹腔鏡下に人工肛門造設術を受けられた患者さまの合併症、手術成績、背景因子を比較、解析し統計学的解析を行います。
この研究は、患者さまの以下の試料・情報を用いて行われます。
試料：なし
情報：年齢、性別、身長体重、採血データ、CT画像、手術記録

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学多摩永山病院 外科 助教 岩井拓磨
〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1
電話番号：042-371-2111（代表） 内線：3085
メールアドレス：nagayama_chiken_center@nms.ac.jp